

指定管理者モニタリング評価シート

評価対象年度： 令和 元 年度

施設所管課： 厳木市民センター産業・教育 課

1 施設の概要

施設名	唐津市厳木特産品等展示販売施設「風のふるさと館」	所在地	唐津市厳木町牧瀬 6 9 2 番地 1
設置目的	市内地場産品の展示及び斡旋並びに観光地等の紹介及び情報の提供を行い、地域経済の活性化に寄与		
休館日	1 2 月 3 1 日、1 月 1 日～2 日	開館時間	午前 8 時～午後 6 時

2 施設の利用状況

説明	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	利用状況の傾向と増減の要因
風のふるさと館	187,715 人	178,211 人	171,061 人	167,567 人	減少傾向 集客増につながる野菜や商品不足

3 指定管理者の概要

指定管理者	名称	株式会社 風のふるさと館		
	所在地	佐賀県唐津市厳木町牧瀬 6 9 2 番地 1		
	代表者	嶺川 淳一郎		
指定期間	平成 29 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日			
指定管理者の業務内容	唐津市厳木特産品等展示販売施設「風のふるさと館」管理運營業務			
事業の実施状況	唐津市厳木町の各生産者・製造者と連携を図り、その出荷者の所得向上を目標とし、厳木の農林業及び商工業の振興を推進。			
職員の配置状況	常勤 正規職員、フルタイム等	非常勤 嘱託・臨時職員、パート等	常勤の内訳	
	2 人	13 人	従業員・食堂主任	

4 収支状況

単位：円

	令和元年度 決算額	平成30年度 決算額	増減額
収入 (a)+(b)+(c)+(d)	55,448,195	55,409,430	38,765
指定管理料 (a)			
利用料金収入 (b) ※利用料金制の場合のみ			
事業収入 (c)	53,983,196	55,409,430	-1,426,234
風のふるさと館	41,579,931	41,967,451	-387,520
食堂	10,067,980	10,959,170	-891,190
その他	2,335,285	2,482,809	-147,524
—			
その他収入 (d)	1,464,999	0	1,464,999
支出 (e)+(f)+(g)+(h)+(i)	55,090,271	54,890,205	200,066
人件費 (e)	26,114,260	25,664,787	449,473
施設管理費 (f)	11,634,264	10,638,063	996,201
光熱水費	4,012,463	4,099,717	-87,254
修繕費	495,591	151,135	344,456
広告宣伝費	47,220	78,399	-31,179
委託料 (再委託)	4,700,501	4,422,619	277,882
保険料	254,470	259,030	-4,560
事務費	1,569,439	1,147,098	422,341
その他	554,580	480,065	74,515
事業費 (g)	244,088	373,910	-129,822
うち自主事業に伴う 経費	244,088	379,910	-135,822
施設使用料 (h)			
その他支出 (i)	17,097,659	18,213,445	-1,115,786
収支	357,924	519,225	-161,301
利益配分額	178,962	259,612	-80,650

※ 前年度の報告においては、平成30年度の決算において、事業収入(c)に記載すべき項目を誤って、「その他収入(d)」に記載していたため修正

5 項目別評価

評価項目		自己評価	市の評価
1 業務の履行状況			
(1) 運営業務（全般）			
①運営管理	条例、協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守しているか。	適	適
	使用料または利用料金の徴収、減免手続き等を適切に行っているか。	—	—
	施設の利用者数、稼働率を適切に管理しているか。	適	適
②人員体制	施設の管理運営に必要な資格、経験等を有する人員が過不足なく配置されているか。	適	適
	従業員の労働条件は適正であるか。	適	適
	従業員の資質向上のための指導、研修等を適切に実施しているか。	A	B
③管理記録	業務日誌等を適切に記録し、保管しているか。	適	適
④連絡調整	協定書等に定めた各種報告書を、期限内に市に提出しているか。	適	適
	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	適	適
⑤危機管理	基本協定に定めるリスク分担に従い、適切な対応を行っているか。	適	適
	緊急時に直ちに措置を講じ、市に報告を行ったか。	適	適
	緊急時の連絡体制、マニュアルを整備し、定期的に研修、訓練等を行っているか。	A	B
⑥個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守しているか。	適	適
	施設利用者等の個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じているか。	適	適
(2) 維持管理業務			
①維持管理	省エネルギー、省資源など環境への配慮がなされているか。	適	適
	施設や設備、備品等の保守管理（点検や修繕等）を適切に行っているか。	A	B
	清掃、警備、衛生管理その他施設管理に必要な業務を適切に行っているか。	A	B
②再委託	再委託にあたり、事前に契約方法及び契約事項を市に報告しているか。	適	適
	再委託先からの業務報告を受けるなど、履行状況を適切に管理しているか。	適	適

2 サービスの質			
(1) 運營業務（利用者対応、情報発信等）			
①利用者対応	施設利用者に対して、設備、備品等を適切に提供しているか。	適	適
	施設の利用許可、案内等を迅速かつ適切に対応しているか。	適	適
	施設利用者への言葉使い、態度、服装等、接遇が適切であるか。	適	適
②苦情等対応	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告しているか。	適	適
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	A	B
③利用者アンケート	適切な利用者アンケート調査を実施し、その結果が良好であるか。	B	C
	利用者アンケートの結果に基づき、適切な改善策を講じているか。	A	C
④施設の利用状況	施設の利用者数、稼働率等に関する目標を達成しているか。	C	C
⑤情報発信	利用者の利便性向上のため、ホームページ等の更新、管理を適切に行っているか。	適	適
	各種媒体を利用し、事業、イベントの開催案内等の広報を適切に行っているか。	A	B
(2) 事業実施状況			
①事業実施状況	事業計画に定めた事業を適切に実施しているか。	適	適
	施設の設置目的に沿った自主事業を実施し、市民サービスの向上が図られたか。	B	B
(3) 地域貢献			
①地域貢献	地元雇用を積極的に行っているか。	適	適
	地域の意向に沿った運営や、地域活動への参加・協力を行っているか。	A	A
	地元事業者からの物品調達など、地元を活用した運営がなされているか。	A	B
3 継続性・安定性			
(1) 運營業務（経理事務、予算執行等）			
①経理事務	専用口座、帳簿等を備え、指定管理業務に係る経理区分が明確に整理されているか。	適	適
②予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	適	適
③取引状況	取引先等の関係業者との関係は良好であるか。	適	適
(2) 収支状況			
①経費縮減	施設の管理運営に係る経費が縮減されているか。（経費削減に努めているか。）	A	B
②収入増加	収入増加のための取り組みがなされているか。	A	B
③収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当であるか。（目標を達成しているか。）	B	C

※ 上記の評価項目、評価の視点は標準的なものであり、施設の特性に応じて調整（追加、削除）を行うこととする。

6 総括評価及び総合評価

総括評価	1 業務の履行状況	B	指定管理者の管理運営に対する評価・コメント
	2 サービスの質	C	
	3 継続性・安定性	C	
総合評価		C	<p>人口減少・少子高齢化による売上減少はあるものの、毎期小幅ではあるが利益計上はできているところではある。</p> <p>利用者、来場者へのアンケートをとり、広く意見や要望を聞き取り運営に反映させる取り組みが必要であるとする。</p> <p>また、今後の課題としては、来店者増加の為に集客力が必要と考えられるため、出品農家などの関係先との協力が必要になるが、6次産業化による産業創出とともに、厳木道の駅独自の商品開発をすすめるなど、新たな取り組みが重要であるとする。</p>